平成３０年度10月

東京大学 「未来社会空間の創生」 国際卓越大学院

応募申請書

１．申請者情報等

（１）申請者情報

|  |  |
| --- | --- |
| （フリガナ）  氏　　名 | （　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　） |
| 国　　籍 |  |
| 所属研究科 | 研究科 |
| 所属専攻 | 専攻 |
| 学籍番号 | （　　　　　）－（　　　　　　　　　　　　　） |
| 課程・学年 | □修士1年　□修士2年　□博士1年（9月入学）  （該当するものにチェック☑を入れる） |
| 修士課程  入学年月 | 平成　　　年　　　月　　（本学修士課程の在籍学生が記入する） |
| 修士課程  修了年月 | 平成　　　年　　　月　　（本学修士課程の修了学生が記入する） |
| 博士課程  進学・入学年月 | 平成　　　年　　　月　　（本学博士課程の在籍学生が記入する）  □進学　□入学　　（該当するものにチェック☑を入れる） |
| 連絡先  （電話） | 内線番号：　　　　　　　　携帯： |
| 連絡先  （Eメール） |  |
| 指導教員 | 所属部局（工学系、生研など）　： |
| 氏名：　　　　　　　　　　職名： |
| 指導教員の署名  （自署） |  |
| 博士課程  進学について | 修士課程の学生は以下を確認し、チェック☑を入れる。  □「現在、博士課程進学を第一に考えている」 |

（２）研究課題

|  |
| --- |
|  |

（３）奨学金等受給状況（申請時の手取り月額（予定額））

|  |  |
| --- | --- |
| 日本学術振興会  特別研究員 | 月額　　　　　　　　　　　　円 |
| 日本学生支援機構  奨学金 | 月額　　　　　　　　　　　　円 |
| 国費外国人留学生 | 月額　　　　　　　　　　　　円 |
| 外国政府奨励金 | 月額　　　　　　　　　　　　円（奨学金名：　　　　　　　　　　　　） |
| 授業料の補助の有無（東大の授業料免除は除く）  □有（金額：　　　　　　　　円）　□無 |
| ＲＡ | 月額　　　　　　　　　　　　円 |
| ＴＡ | 月額　　　　　　　　　　　　円 |
| その他  民間奨学金 | 月額　　　　　　　　　　　　円（奨学金名：　　　　　　　　　　　　） |
| 授業料の補助の有無  □有（金額：　　　　　　　　円）　□無 |
| プロジェクト給与 | 月額　　　　　　　　　　　　円（プロジェクト名：　　　　　　　　　） |
| 技術補佐員又は  事務補佐員 | 月額　　　　　　　　　　　　円 |
| 個人番号（8桁） | （個人番号はマイナンバーのことではありません） |

（４）経済支援策

　奨励金の受給：　□希望する　□希望しない　　（該当するものにチェック☑を入れる）

２．これまでの研究状況（図表を含めてもよいので、わかりやすく記述すること）

1. 研究背景、問題点、解決方策、研究目的、研究方法、特色と独創的な点について当該分野の参考文献をあげて記述してください。
2. これまでの研究経過及び得られた研究結果について、上記1)で記載したことと関連づけて説明してください。なお、これまでの研究結果を論文や学会等で発表している場合には、申請者が担当した部分を明らかにして、その内容を記述してください。

|  |
| --- |
|  |

３（Ａ）．これからの研究テーマ（図表を含めてもよいので、わかりやすく記述すること）

※修士1年生が記入すること。修士2年生と博士1年生は３（Ｂ）を記入する。

２.で述べた研究状況を踏まえ、「未来社会空間の創生」と自分のこれからの研究テーマとの関係性について記入してください。

|  |
| --- |
|  |

３（Ｂ）．これからの研究計画（図表を含めてもよいので、わかりやすく記述すること）

※修士2年生と博士1年生が記入すること。修士1年生は３（Ａ）を記入する。

（１）研究背景

２.で述べた研究状況を踏まえ、これからの研究計画の背景、問題点、解決すべき点、着想に至った経緯等について参考文献をあげて記入してください。

|  |
| --- |
|  |

（２）研究目的・内容

1. 研究目的、研究方法、研究内容について記述して下さい。
2. どのような計画で、何を、どこまで明らかにしようとするのか、具体的に記入してください。
3. 共同研究の場合には、申請者が担当する部分を明らかにしてください。
4. 研究計画の期間中に異なった研究機関（外国の研究機関等を含む）において研究に従事することを予定している場合はその旨を記載してください。

|  |
| --- |
|  |

（３）研究の特色・独創的な点

1. これまでの先行研究等があれば、それらと比較して、本研究の特色、着眼点、独創的な点を記述してください。
2. 国内外の関連する研究の中での当該研究の位置づけ、意義を記述してください。
3. 本研究が完成したときに予想されるインパクト及び将来の見通しを記述してください。

|  |
| --- |
|  |

（４）年次計画

修士課程から博士課程にかけて年次毎に記載して下さい。元の枠に収まっていれば、年次の項目立てやスペース配分は変更して構いません。

|  |
| --- |
| （修士課程2年目）  （博士課程1年目）  （博士課程2年目）  （博士課程3年目） |

４．研究業績

下記の項目について申請者が中心的な役割を果たした業績のみを記載してください。その際、通し番号を付すこととし、該当がない項目は「なし」と記載してください。申請者にアンダーラインを付してください。業績が多くて記載しきれない場合には、主要なものを抜粋し、各項目の最後に「他○報」等と記載してください。

1. 学術雑誌等（紀要・論文集等も含む）に発表した論文、著書
   * + 査読の有無を区分して記載してください。査読のある場合、印刷済及び採録決定済のものに限ります。
     + 著者（申請者を含む全員の氏名を、論文と同一の順番で記載してください）、題名、掲載誌名、発行所、巻号、pp開始頁－最終頁、発行年をこの順で記入してください。
     + 採録決定済のものについては、それを証明できるものを本申請書の末尾に添付してください。
2. 学術雑誌等又は商業誌における解説、総説
3. 国際会議における発表
   * + 口頭・ポスターの別、査読の有無を区分して記載してください。
     + 著者（申請者を含む全員の氏名を、論文等と同一の順番で記載してください）、題名、発表した学会名、論文等の番号、場所、月・年を記載してください。発表者に○印を付してください（発表者が申請書とは限りません）。発表予定のものは除きますが、発表申し込みが受理されたものは記載しても構いません。その場合は、それを証明できるものを本申請書の末尾に添付してください。
4. 国内学会・シンポジウム等における発表
   * + (3)と同様に記載してください。発表申し込みが受理されたものを記載する場合は、(3)と同様に証明できるものを添付してください。
5. 特許等（申請中、公開中、取得を明記してください。ただし、申請中のもので詳細を記述できない場合は概要のみの記述で構いません)
6. その他（受賞歴等）

|  |
| --- |
|  |

５．自己評価

申請者本人による自己評価を次の項目毎に記入してください。

1. 本プログラムに申請した動機、目指す研究者像・技術者像、自己の長所等
2. 自己評価する上で、特に重要と思われる事項（特に優れた学業成績、受賞歴、飛び級入学、留学経験、特色ある学外活動など）

|  |
| --- |
|  |